

## 第5学年 道徳学習指導案

平成25年6月17日(水) 第○校時  
指導者 教諭 ○○ ○○

- 1 主題名 役割を果たす〔内容項目4-(3)〕
- 2 資料名 「かれてしまったヒマワリ」(出典「道徳5 希望を持って」東京書籍)
- 3 主題設定の理由

### (1) ねらいとする道徳的価値について

本主題は、高学年の内容項目4-(3)「身近な集団に進んで参加し、自分の役割を自覚し、協力して責任を果たす」に当たる。これは、「4 主として集団や社会とのかわりに関すること」の中で、小学校高学年で初めて扱う内容となっている。

人間は社会的な存在であり、様々な集団に属して生活を営んでいる。子どもたちは、これからの学校生活や将来の所属集団の中で様々な責任ある役割や仕事を任されていく。それらにおける集団と個の関係は、集団の中で成員の一人一人が尊重され、生かされるものでなければならない。個人の主体的な参加と協力が促されることで集団生活が成り立ち、その向上が図られるのである。集団の中で一人一人が主体的に集団活動に参加していくようにするためには、役割や責任を果たすことが集団の向上につながり、他者の喜びへと結びついていくことを感じ取らせることが大切である。「自分の行動が誰かのために役立っている」という自己有用感をもつことで、集団生活はより豊かなものになっていく。この内容を扱うことで、一緒に活動する楽しさや集団の役に立つことの喜びを感じさせ、主体的な活動への意欲を高めていきたい。

### (2) 児童の実態について

4月に進級してから2か月間、児童は学校生活の多くの場面で「集団の中で自分の役割を果たす活動」を経験している。学級活動における「児童会の委員を決めよう」では、委員会活動の意義について話し合い、学校生活の充実と向上のために活動することの大切さを指導したことで、休み時間や放課後に任された仕事に自主的に取り組む児童が多くなっている。また、年度当初に決めてスタートした学級の係活動や当番活動においても、各自が、いつ、どこで、どのように行うのかを理解して活動に取り組んでいる。5月に行われたプールの清掃では、事前に自分たちに任されている仕事の大切さを話し合い、一人一人の努力が本校のためになっていることを確認して清掃活動に取り組んだ。

しかしながら、責任感の不足からか、ともすると、任された仕事を忘れてしまうこともある。また、任された仕事に対して「(やらないと)叱られるから…」といった消極的な思いで臨んでおり、「自分の役割を果たすことが他の人や集団のために役立っている」という積極的な思いにまで至っていない状況も感じられることがある。

そこで、本時は、他者とのつながりの中で自分の役割や責任を果たすことの喜びや大切さについて、より考えを深めていくよう、日常の道徳教育の深化を図る道徳の時間としていきたい。

### (3) 資料について

本資料の主人公は、環境委員会で玄関の一つのプランターと花壇のヒマワリなどの水やり、腐葉土の水かけを引き受ける。緑の多いことが学校の自慢であり、主人公も初めての委員会活動に張り切っていた。しかし、友だちの誘いや自分の都合などから徐々に任された仕事をしなくなってしまう。「やらなくても、どうにかなるだろう…」と考え、言い訳をして仕事をしないで済ませようとしていた。ところが、ある日、体育委員を務めている友だちが一生懸命に仕事をしている姿を見て、「このままではいけない」と気付き、それまでの自分の無責任さを反省し、これからは学校のために責任をもって自分の仕事を行おうと決意する話である。

本学級では、学校のために取り組む種々の活動に対して「やってみたい」「やるぞ」という前向きな気持ちで臨む児童が多く見られるので、委員会活動の仕事が決まって張り切っている主人公に共感できる者が多いと考えられる。また、その一方で、やる

と決めたことをなかなか継続することができないといった面もあるため、だんだんと遊びの方に気持ちが向いてしまい、次第に仕事をやらなくなってしまう主人公にも共感できる部分が多いと思われる。そこで、友だちの姿を見て自分の仕事の責任について考え直す主人公の様子から、集団の一員として役割を果たすことの大切さに気付かせたい。また、しっかりと仕事をしておけば、花壇のヒマワリがどのように育って、下級生や地域の方がどのように喜んでくれたのかを考えさせ、集団や社会のために自分の役割を果たそうとする積極的な姿勢を育てたい。

なお、本資料を扱うに当たって、自分とのかかわりで道徳的価値をとらえさせるために、次の点で指導上の工夫を行っていくこととする。

① 児童一人一人に自分の考えをもたせる工夫

◆より主人公に共感できるよう、条件・状況の説明を短冊や場面絵を活用して丁寧に行う。

② 積極的に役割や責任を果たしていこうとする実践意欲につなげる工夫

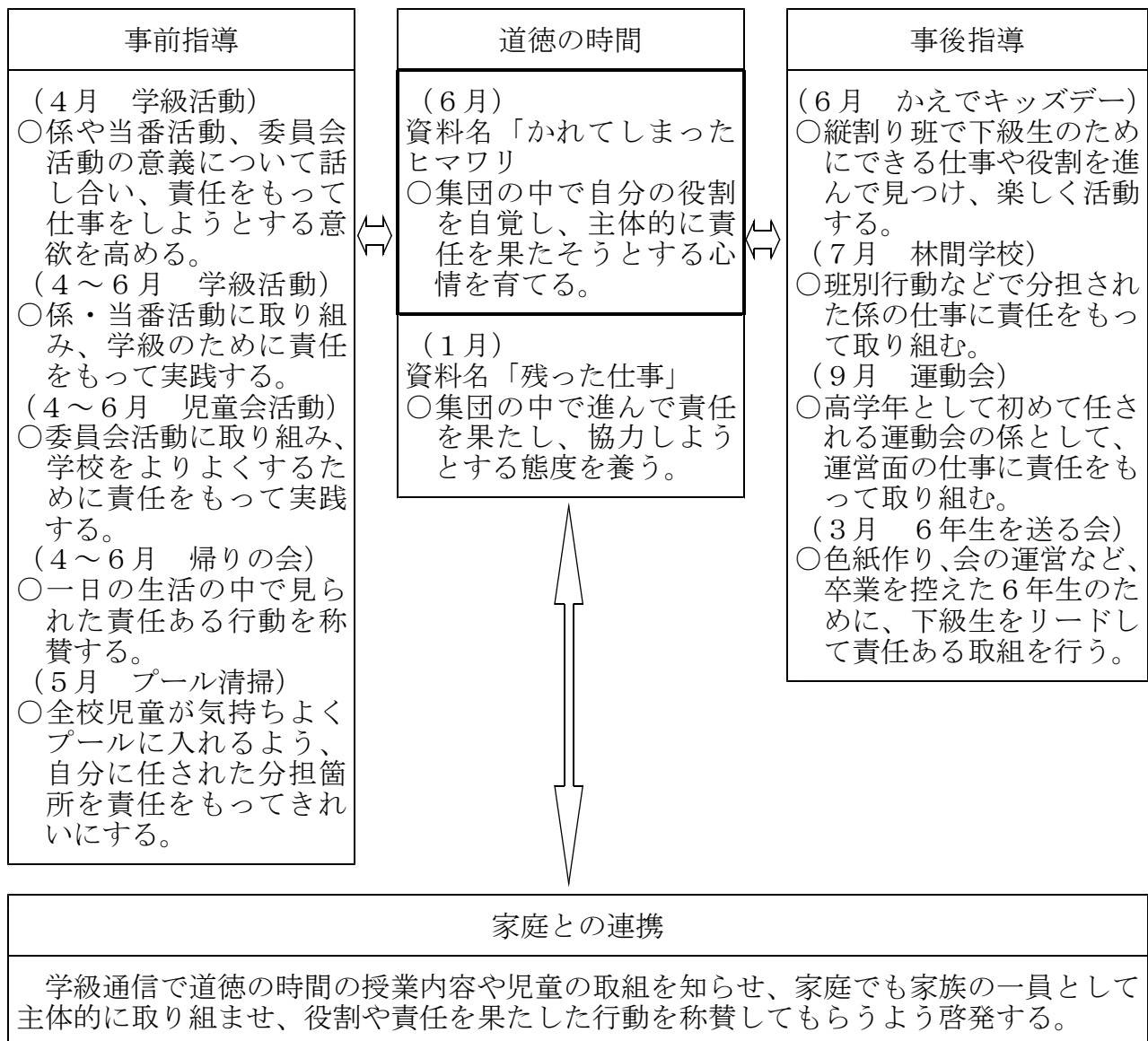
◆自分の生活を振り返ることで今後の実践への意欲付けを図るために、終末の段階で「書く活動」を取り入れる。

◆実際に自分たちの活動に喜んでくれている人たちがいることを、下級生の姿から実感できるようにする。

4 ねらい

集団の中で自分の役割を自覚し、主体的に責任を果たそうとする心情を育てる。

5 他の教育活動等との関連



## 6 学習指導過程

段階	学習活動・主な発問	予想される児童の反応	・指導上の留意点 ☆評価の観点
導入	1 自分の役割について話し合う。 ・学級や学校のために行っている仕事には、どんなものがありますか。	・配布係として、ノートやプリントなどを配っています。 ・日直や給食などの当番活動をしています。 ・飼育委員会でウサギの世話をしています。	・一人一人が行っている仕事を聞きながら、本時の価値への方向付けを行う。
展開	2 資料について、条件・状況を知り、教師の範読を聞く。	登場人物：ぼく(主人公)、体育委員の山田君と大石君 条件・状況 ぼくは環境委員会でプランターと花壇の水やり腐葉土の水かけを引き受けた。初めのうちは一生懸命に仕事をやっていたが、だんだん友だちとの約束や塾などの自分の都合を優先するようになり、仕事をやらなくなっていった。	
	3 児童の感想をもとに、話し合いの柱立てを行う。 ・どの場面について話し合いたいと思いますか。	・仕事を引き受けた場面 ・仕事をやらなくなった場面 ・体育委員(山田君と大石君)の仕事を見た場面 ・急いで花壇に向かう場面	・状況把握をしっかり行い、一度の範読で児童の心に響くよう、読む速さや補足説明などに留意する。
深める	4 「ぼく」が委員会の仕事に取り組む気持ちを中心に話し合う。  (1) 仕事が決まったときの「ぼく」は、どんな気持ちだったのでしょうか。  (2) どんな気持ちから「ぼく」は、仕事をやらなくなったのでしょうか。	・忘れずにやろう ・頑張って仕事をやり遂げたい ・学校を緑でいっぱいにしよう ・もっと緑が自慢できる学校にしよう ・枯らしてしまったら目立ってしまうので、しっかりやろう ・通り道で仕事がしやすいし、そんなに面倒ではないから、やってみよう  ・少しくらいやらなくても平気だろう ・大したことはない ・雨が降るだろうし、水の心配はしなくても大丈夫だろう ・友だちに誘われてしま	・委員会活動に取り組む主人公の思いや姿勢について話し合いを進めるようにする。  ・任された役割や責任を果たすことについて、色々な感じ方、考え方があること(他者理解)を図る。  ・次第に遊びなどに気が向いてしまい、自分を正当化し、責任転嫁しようとしている主人公に共感できるようにする。  ・責任を果たすことは大切だが、続けることはなかなか難

		<p>ったのだから仕方がない</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>塾に行くのは正当な理由だから仕事はしなくてよい</li> </ul>	<p>しいこと（人間理解）を図る。</p>
	<p>(3) 山田君と大石君を見て、「ぼく」はどんなことを考えたのでしょうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「ぼく」がしてしまったことの後始末をしている。</li> <li>二人に悪いことをしてしまった。</li> <li>二人に迷惑を掛けてしまった。</li> <li>謝りたいけど、行く勇気が出せない。</li> <li>片付けは、本当は「ぼく」がやらなくてはいけないものだったのに</li> <li>やるべきことをやらなかった</li> <li>二人とも仕事をしっかりやっているんだ</li> <li>自分は仕事をやらないで帰ろうとしていて恥ずかしい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>二人の行動を見て、自分の行動を振り返っている主人公の葛藤する様子に共感できるようにする。</li> <li>面倒くさがったり、責任を自覚していなかったりすることが、他の人へ迷惑を掛けることにつながってしまうことに気付かせる。</li> <li>周りの人たちのためにも、役割や責任を果たすことが大切であること（価値理解）を図る。</li> </ul>
	<p>(4) 花壇に向かいながら、「ぼく」はどんなことを考えていたのでしょうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>花は大丈夫かな…</li> <li>花が枯れていませんように…</li> <li>今からでも間に合いますように…</li> <li>早く水をやりに行かなくては…</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>これからの自分の仕事の取り組み方について考えている主人公の姿をとらえる</li> <li>しっかり仕事をしていたら、花壇がどのようになって、下級生や地域の人々がどのように感じてくれたのかを考えさせる。</li> </ul>
	<p>(補助) 枯れてしまったヒマワリを見て、「ぼく」はどんなことを考えていたのでしょうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>しっかりと仕事をしておけば枯れることはなかった</li> <li>仕事をやっておけば、もっと緑が自慢できる学校になったのに…</li> <li>きれいに咲いていたなら下級生や地域の方も喜んでくれていただろう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆主人公に共感し、自分とのかかわりで集団の一員としての役割を果たそうとすることについて考えているか。（発言・観察）</li> </ul>
見 つ め る	<p>5 自分たちの生活を振り返る</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分の仕事を責任をもって行うにはどんな思いや心掛けが大切でしょうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>仕事をしないと人に迷惑が掛かってしまうことを考える。</li> <li>自分の仕事で喜んでくれる人がいることを考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>書く活動を入れることで、児童一人一人がこれからの自分の在り方を見つめられるようにする。</li> <li>道徳的実践の指導に偏らないように配慮する。</li> <li>☆どんな思いや心掛けが大切かについて、自分の考えがもっているか。（記述）</li> </ul>
終 末	<p>6 「下級生からのメッセージ」を聞き、</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>「下級生からのメッセージ」（日常の学校生活で世話をし</li> </ul>

た め る	実践への意欲化を図 る。	ている学年の児童からの感 謝の言葉)を紹介し、社会 的役割を果たすことの大切 さを実感させる。
-------------	-----------------	--

7 評価の観点

- ・主人公に共感し、自分とのかかわりで集団の一員としての役割を果たそうとすることについて考えることができたか。
- ・自分の仕事を責任をもって行うために、どんな思いや心掛けが大切かについて、自分の考えがもつことができたか。

8 板書計画

